

3 旅の行程

4月27日（出発の日）

- 午前10時ごろ郷里を出船（倉敷川を下る）。
- 天気は良いが、向かい風で波が高い。
- 郡（こおり）付近でヒラ網漁をしているようで、漁師の小舟がたくさん見える。
- 潮待ちのため北浦の片山家に宿泊（翌日も酒を酌み交わす）。



4月29日(3日目)

- 午前10時ごろ牛窓に到着。今日も風が悪く足止め。夕方から風が激しくなる。

5月1日(4日目)

- 朝から雨が降る。

5月2日(5日目)

- 今日晴れず風が悪い。
- 夕方に空が晴れてきて風も出てきた。舟子たちが「今だ!」といって船出する。



5月3日(6日目)

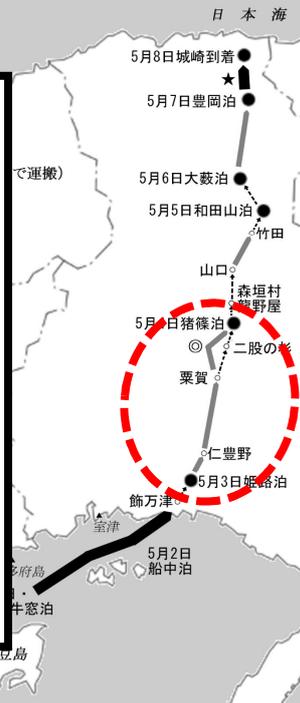
- 午前10時ごろ飾万津に到着、上陸。
- 笠がないのに五月雨に濡れてしまい、とてもわびしい。
- この日は姫路に宿泊。



地図1 粒浦から湯島まで（往路）

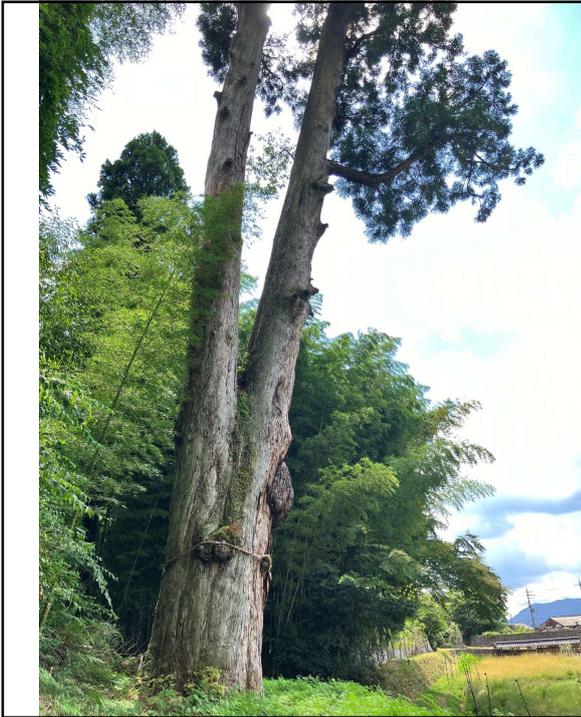
5月4日（7日目）

- 姫路を出発し、1日で38kmほどの距離を駕籠を利用しながら、但馬街道を北上。
- 粟賀～猪篠間は荷物を「小あげ」。市川の高瀬船で運搬？
- 途中で二股の杉を見る。「とても大きな二股の杉が立っていた。」



二股の杉（春日神社）…現兵庫県神河町吉富の国道312号線沿いにある。





樹齡300年以上
幹周り6.7メートル
(環境省の巨樹・巨木林データ
ベースより)



5月5日(8日目)

- 猪篠を出発し、森垣阿登李を訪問するが主人は外出中で会えなかった。
- 生野峠、竹田を通り、和田山の安積天鳳を訪問。思いがけず酒肴を供される。(安積家に宿泊?)
- 安積天鳳は俳人。

地図1 駒波から温泉まで(往路)



5月6日(9日目)

- 午前10時ごろ和田山を出発。雨がよく降る。
- 養父で昼食をとり、大藪の大島松翁を訪問。心を込めて出迎えてくださる。酒肴を供され、家の子どもたちも集まって、日が暮れるまで酒を酌み交わした。
→★講座後半で詳しく。



5月8日(11日目)

- 豊岡から川船に乗り、景勝地の二見浦に寄って、城崎へ行く。
- 正午ごろ油筒屋に到着 (油筒屋は元禄時代創業)。
- 3年前の天保9年にも油筒屋に逗留。懐かしみながら、宿の人と会話。宿の主人の妻が亡くなったことを知る。
- 1ヶ月ほど湯治をしながら逗留。



地図2 湯島から粒浦まで（復路）

6月8日（40日目）

- 早起きする。湯島口まで人びとが送ってくれる。
- 川船に乗り、午前8時ごろ豊岡に到着。
- 松岡で川が見える茶店に入り少し休む（鮎を食べる／「旅中雑記」より）。
- 夕方に大藪の大島松翁を訪問する。2泊する。→★講座後半で詳しく。

地図2 湯島から粒浦まで（復路）

6月10日（42日目）

- 大藪の大島松翁に別れを告げ、和田山の安積天鳳を訪問。
- 安積天鳳に誘われ、河原に行き、筵を敷いて夕涼みをする。瓢を持っていき、夜まで酒を飲む。
- 和田山に3泊（安積宅に宿泊？）。

6月13日(45日目)(1)

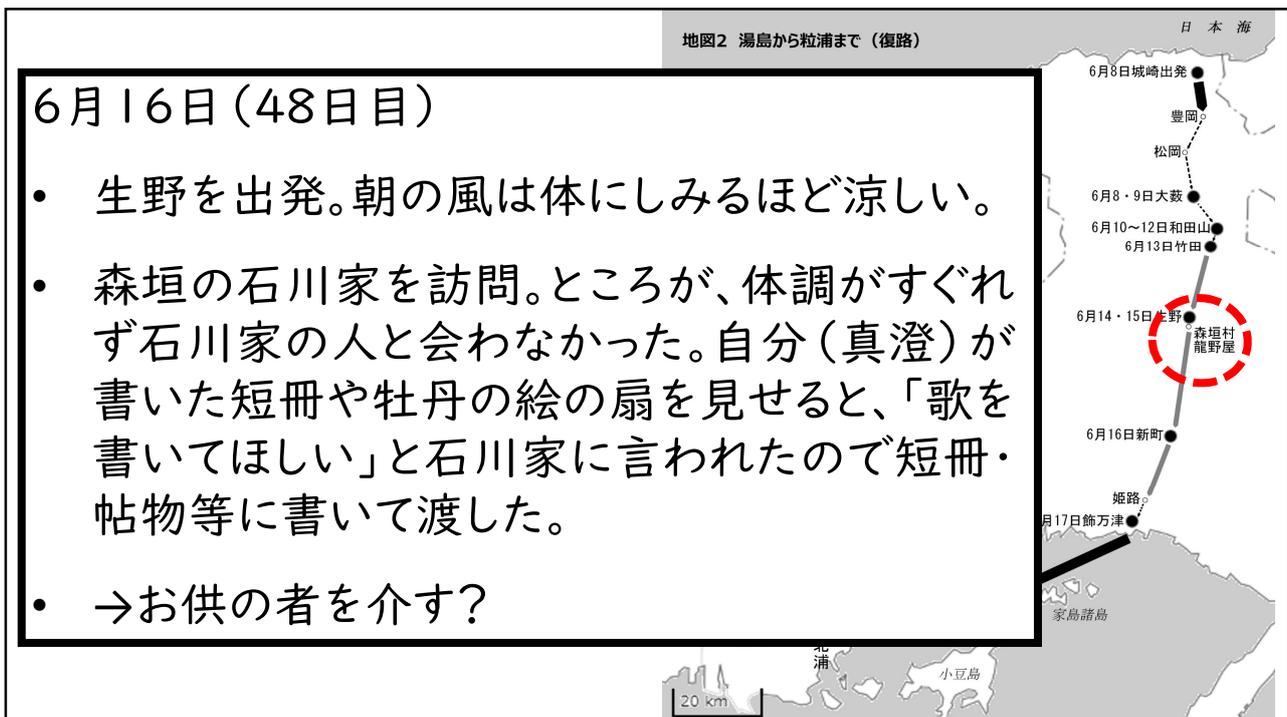
- 和田山を早朝出発。安積家で大変あたたかなもてなしを受け、名残を惜しむ。
- 午前11時過ぎ竹田に到着。竹田諏訪神社の宮本池臣を訪ねるが他所へ出かけて留守。
- 宮本池臣と真澄は同門だが、まだ会ったことがない(師匠は京都の香川景樹)。
- 近所の人に短冊を託す。

6月8日城崎出発
豊岡
松岡
6月8・9日大鼓
6月10~12日和田山
6月13日竹田
6月14・15日生野
森垣村
龍野屋
6月16日新町
姫路
6月17日飾万津
家島諸島

6月13日(45日目)(2)

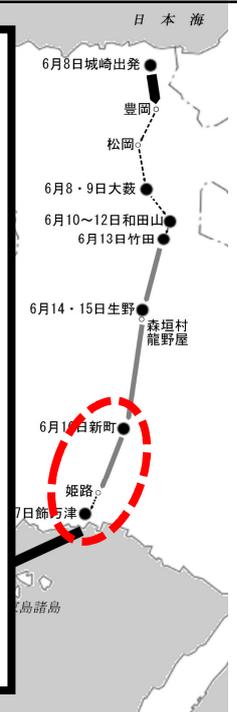
- 太田新右衛門宅を訪問すると、はからずも宮本池臣が来ていた。初めて会って色々とする。
- 宮本に誘われて、竹田諏訪神社に参詣。木々の間からとても涼しい風が吹き込んで、少しも暑さを感じない。
- 宮本と歌を交換する。

6月8日城崎出発
豊岡
松岡
6月8・9日大鼓
6月10~12日和田山
6月13日竹田
6月14・15日生野
森垣村
龍野屋
6月16日新町
姫路
6月17日飾万津
家島諸島
粒浦到着
北浦
小豆島



6月17日(49日目)

- 新町を出発し、姫路で昼食をとり少し休む。
- 夕方になって涼しくなってきたので、飾万津まで行く。備前行きの船があるかどうか聞いたが、なかった。
- 日が暮れて空は曇り南風が激しかったため船を出すことはできない。
- シカラミという所の船宿亀屋に泊まった。とてもわびしい。



6月18日(50日目)

- 午前8時ごろ空が晴れたのでわざわざ船(屋形付きの船)を雇った。
- 魚市の声が高らかだった。
- 午前10時ごろ飾万津を出船。そよそよとした風が吹き出し、心地よかった。家島辺りから風がいよいよ高くなり、船の速度が増した。

地図2 湯島から粒浦まで(復路)



6月19日(51日目・最終日)

- 午前8時ごろ北浦へ着船。
- 北浦の片山家を訪問すると、逆子の安産祝いをしていた。暮れ過ぎまで酒を酌み交わす。(片山家には、行きにも潮待ちで立ち寄っている。)
- 月が出てから舟に乗る。我が家に着いたのは夜中であった。

